

地方観光地における交通渋滞の解消

- 活動継続状況 -

2025年7月18日

代表取締役社長 中城一

弊社では高知県が実施する「高知県オープンイノベーションプラットフォームを活用した課題解決型産業創出に向けた取り組み」に参画しており、地域の課題解決に取り組んでおります。この取り組みにより高知県内から抽出された課題として、「いの町」様の課題解決に向けて活動しております。

<地域課題>

いの町にある観光地「にこ淵」は、メディア等の紹介で注目が高まったことから、ここ数年で観光客が急増しています。特に繁忙期は観光客の車両が押し寄せ、林道に重大な渋滞が発生しおり、近隣の住民や緊急車両でさえ通行できないといった緊迫した状況となっています。

「にこ淵」および駐車スペースへのアクセスは、林道の1ルートしかなく、道幅も限られており、車両の転回が難しいため、一旦林道に入ってしまうと、途中で渋滞を抜ける回避策が取りづらい状況です。また、近隣に代替ルートがないため、現地で混雑や駐車場が満車であることを知っても車列に並んで待つという行動を取るしかありません。

「にこ淵」への道幅が狭く、回避行動が取りづらい点と、近隣に代わりに行ける場所が少なく、車列に並ぶしかない点から、観光客が「にこ淵」に訪問する前に来訪日時を変更していただく必要があります。

<仮説・検証>

AIによって未来の混雑状況を予測し、観光客へ周知することで、混雑しない時間帯での来訪を促す「混雑予測システム」を開発することで課題解決の検証を進めます。

AIによって予測された混雑情報を来訪前の観光客に届ける手段として、観光客向けに混雑予測情報や周辺施設案内等を行うWebサイトを構築します。また、混雑予測情報を幅広い年代の観光客に知ってもらうには、積極的に情報発信することが不可欠であり、多様なプラットフォームで伝える必要があります。そのため、Webサイトに加えてSNSでの情報発信を行えるよう、外部サービスとの連携機能を構築します。さらに構築するWebサイトでは混雑予測情報と共に周辺施設の案内も行うことで、混雑が予想される時間は周辺施設へ訪れるように案内し、「にこ淵」への来訪時間の変更を促すと共に地域の活性化を図ります。

<2023 年度の活動>

本実証事業は、2023 年度から 2024 年度までの 2 年間で想定しており、1 年目となる 2023 年度は主にシステムの開発に注力し、2 年目となる 2024 年度には、開発したシステムを用いた実証実験およびシステムのブラッシュアップを行いました。

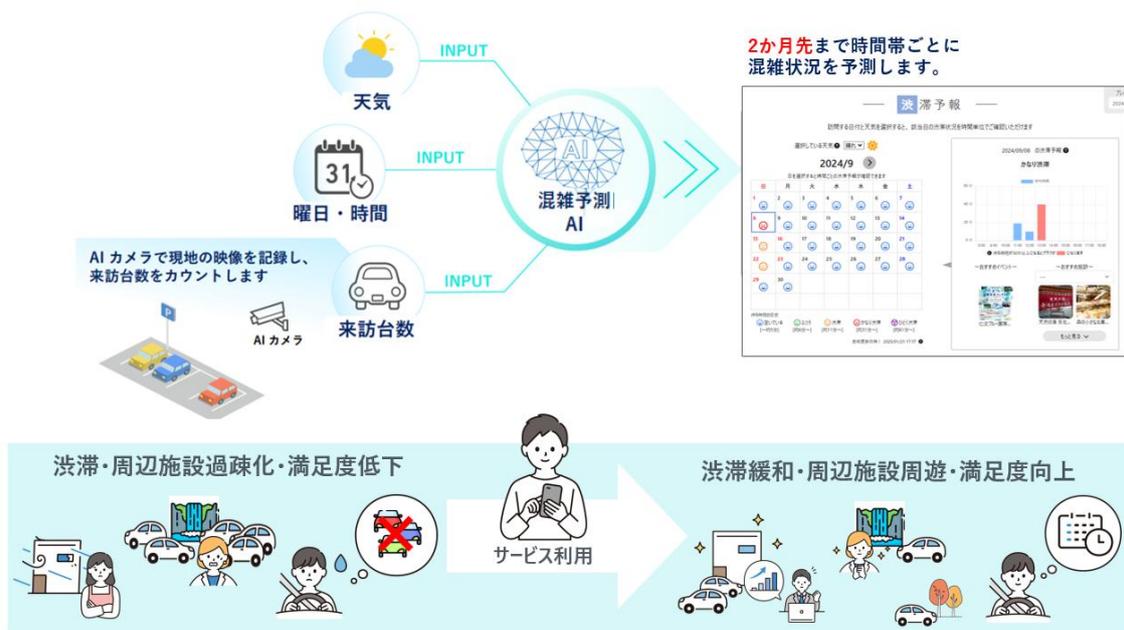
2023 年度には、観光地における混雑予測の実現に向けて、来訪者数や車両数、天候、イベント情報など、混雑に関係すると考えられる各種データの調査・収集・分析を進めながら、予測システムの開発を行いました。

また、混雑予測情報を観光客に提供するためのサービス開発として、観光客向け Web サイトと管理者用アプリケーションの構築も進めました。アプリの要件や画面イメージについては社内で設計・検討を行い、いの町様をはじめとする関係者の皆様にレビューをいただきながら、開発を進めました。

<2024 年度の活動>

2024 年度は、2023 年度に引き続き、AI およびアプリケーションの開発を進め、実証実験に向けた準備を行いました。実証実験は、10 月 21 日から 12 月 20 日にかけて実施し、観光客向けに渋滞を予報する Web サイトを公開しました。この実証実験では、Web サイトの周知を図るために、チラシやポスターの作成、SNS での情報発信などを行い、できるだけ多くの観光客にサービスが届くよう工夫しました。また、効果検証の一環として、Web 上および現地での 2 種類のアンケート調査を実施しました。

その結果、実証実験前と比較して、ピーク時間帯の交通量が緩やかになり、混雑の分散化傾向が見られました。ただし、季節的な要因の影響も考えられるため、今後さらに多くのデータを収集し、検証を進めていく必要があります。アンケート結果では、渋滞予報を活用することで「混雑が予想される時間帯を避けて訪れたい」と回答した人が 8 割を超え、本実証実験によって混雑緩和の効果が期待できることが示されました。



<今後の計画>

今回開発した「混雑予測システム」については、今後全国への展開を視野に入れて拡販を進めていく予定です。まずは、今回実証実験を行った「にご淵」と同様に、混雑に課題を抱える地方の観光地を対象に、展開先の検討を進めていきます。

さらに、未来の混雑を予測し、それを事前に届けるという仕組みは、観光地に限らず、さまざまな分野にも応用できる可能性があると考えています。今後は、こうした観光地以外での活用も含めて、システムの価値を多角的に検討し、さまざまな社会課題の解決に貢献できるよう、さらなる展開を目指していきます。

・いの町 Web サイト

<https://www.town.ino.kochi.jp/>